



安藤 洋

株式会社さくらケーシーエス

事業推進部

リーダー

情報技術マップ調査について

～現場にいる技術者の声から分かった技術トレンド～

プロフィール

1999年、株式会社さくらケーシーエスに入社し、公共団体向けシステム開発に従事。現在は、事業推進部技術統括グループにて次世代IT技術を対象にした技術調査や適用支援活動に携わる。公共団体向けシステム開発の経験を活かし、ITシステム開発の生産性向上に関する企画立案および推進を担当。

講演概要

JISA 情報技術マップ調査は、技術者へのアンケート調査を通じて、現状の技術への取り組み状況、具体的には、技術を利用した実績や、今後の着手意向を探る事で、業界として今どの方向に動き出そうとしているのかを明らかにしようとするものである。いわゆる未来予測といった外部専門家による動向分析と異なり、実際の現場にいる技術者の生の実態を映し出す調査として実施している。

2004年度に調査を開始して以来、2011年度で7回目を迎えた。この間、WEBサービスの普及やモバイル端末の普及、また近年ではクラウドコンピューティングが新しいプラットフォームとして注目されるなど、従来にも増して、情報技術の変化は劇的に変わりつつある。国内の情報サービス産業においては、技術的な動向を見極めるとともに、自社あるいは業界全体の置かれた状況を十分に把握し、技術開発や人材育成等における選択と集中が従来以上に必要とされている。

本セッションでは、過去の調査データ（2004～2009、および、2011年調査分）と併せて分析することで、個々の要素技術に対する利用実績、着手意向によって特徴付けられるフェーズ（研究期、普及期、安定期、衰退期）とその変動について報告したライフサイクルマップについて紹介する。また、本調査をSI企業の技術戦略策定にどのように活用することができるのかについて検証する。